

公益財団法人

# 日本世論調査協会 2019年度研究大会

日時：令和元年 11月8日（金） 10:00～16:50

会場：同志社大学東京サテライトキャンパス・セミナー室

（東京都中央区京橋 2-7-19 京橋イーストビル3階 地下鉄銀座線京橋駅下車1分  
有楽町線銀座一丁目駅、都営浅草線宝町駅、JR 東京駅[八重洲南口]も利用可能）

## 〔研究大会プログラム〕

（9:30開場）

10:00～10:10 開会・会長挨拶

### 第一部 研究報告（10:10～11:50）

10:10～10:35 日本人の国民性第14次全国調査の設計と実施

前田忠彦（統計数理研究所）・朴 堯星・稲垣佑典・吉野諒三・加藤直子・芝井清久

10:35～11:00 国際比較調査における調査票（質問紙）の翻訳をめぐる諸問題とその解決の提案  
真鍋一史（統計数理研究所）

11:00～11:25 アメリカ社会学における社会調査の動向に関する基礎的分析 —American Sociological Review(2013年～2017年)掲載論文を素材に一

尾藤央延(大阪大学大学院)・齋藤僚介・須永大智・狭間諒多朗・渡辺健太郎

11:25～11:50 Response rate trends in Japan: Examination of three governmental public opinion surveys  
Nicolaos E. Synodinos (ハワイ大学); (故)山田茂(国士舘大学)

### 第二部 シンポジウム「情勢調査はどこへ行くのか」（13:00～16:50）

講演（13:00～13:50）

「選挙予測報道の岐路—情勢調査をめぐる—」 埼玉大学社会調査研究センター所長 松本 正生

報告（13:50～15:00）

- 1 参院選選挙情勢調査への携帯RDDの導入 13:50～14:10 持木 俊介(日経リサーチ)
- 2 自動音声応答通話による情勢調査 14:10～14:30 大隈 慎吾(毎日新聞社)
- 3 選挙情勢報道の持続可能性を高める「機械化」の取り組み 14:30～15:00 米重 克洋(JX通信社)

討論「情勢調査の未来を語る」（15:10～16:50）

司会＝ 前田 直人（朝日新聞社）

出席 谷藤 悦史（早稲田大学）

米重 克洋（JX通信社）

川崎 英輝（読売新聞社）

鬼木 浩文（毎日新聞社）

宿南 香樹（共同通信社）

（敬称略）

※研究大会への参加は無料です。会員以外の参加も受け付けています。

（できるだけ事前に事務局へお申し込み下さい）

**【懇親会】**（会場ビル右の道進む・相鉄フレッサイビル1階「ビストロカツキ京橋店」）

17:15～19:15（会費：4000円）

**【研究大会の会場】同志社大学東京サテライト・キャンパス**

東京都中央区京橋2丁目7番19号 京橋イーストビル3階

TEL：03-6228-7260 FAX：03-6228-7262

▽JR東京駅 八重洲南口

▽地下鉄銀座線・京橋駅 6番出口

▽地下鉄有楽町線・銀座一丁目駅 7番出口

▽都営地下鉄浅草線・宝町駅 A5～A7出口

「みずほ銀行」横の入口からお入りください。



**【懇親会の会場】「ビストロカツキ 京橋店」**

東京都中央区京橋2-1 1-1 相鉄フレッサイビル1F

TEL：03-6264-4325

▽同志社大のビル右側の路地を進む→最初の十字路

